

不動三滝～関八州見晴台（771m）～高山不動：紅葉ハイク

齊藤 整紀

- 2020年11月14日（土）快晴
- メンバー 齊藤整紀（単独）
- コース 池袋駅 7:32（急行）⇒9:09 西吾野
9:15→不動三滝（大滝・不動ノ滝・白滝）10:10
～11:20→関八州見晴台 12:00～15→高山不動
12:45～13:05→不明の舗道 13:50→15:05 吾野駅

先週の交流ハイクの為体を反省、山に慣れるため、お馴染みだが私は初めてのコースに挑戦。

天気は上々、暖くなる予報であるが、電車は空いていて、ハイカーは少ない。西吾野駅から三滝コースは私を含めて3人のみ。しばらく舗道が続き、15分過ぎから山径に入る。日の差さない杉林は寒い！出発から55分、三滝のトップ大滝は川底まで降りる。可愛い「大滝」が姿を現す。急斜面を上り返して、次は不動ノ滝を目指す。標識に従って上った所から、斜め左に少し下る。川筋の小さい流れの先を見上げると大きな岩屋風巨岩、これが「不動ノ滝」。最後の白滝は、食材の「シラタキ」が連想される小ぶりの二連の滝である。三滝はどれも個性的で、すべて往復のため、全部で1時間以上を要する。

高山不動への途中、グリーンラインへコースを変え、関八州見晴台へ向かう。ようやく日差し之恩恵に与る。車やバイクの車道を横切り見晴台へ到着。さすがに人は多く、ベンチは一杯で、昼食は富士山も眺められる叢に腰を下ろす。



好天下、名前通り展望は見事で、特に丹沢、秩父、赤城が近い。だが、やはり富士山！ここ高山不動尊奥ノ院は小さなお堂で、閉じたままである。

30分程下ると高山不動の本堂の赤い屋根が見えてくる。山中のお堂で階は一段一段が高く、華美な輝きはなく、武骨な印象である。成田、高幡と並ぶ関東三大不動に数えられるというが、地理的にも、交通の便でも不利で、参拝者が少ない。しかし御朱印は丁寧な手書きで、お坊さんの人柄の滲む優しく真直ぐな筆で、有難く頂く。また色づいた境内の大銀杏や楓は見応えがある。ところで本堂から下る110段の石段は急な自然石で歩き辛い。



下山は苦勞した。「滝の道分岐」の手前に、「西吾野」の標識が下についていたため、左に折れた。落ち葉で埋まり、あまり踏まれていない。少し降りた所に墓地があり、その下にも径がついている。真直ぐに15分程下ると林道を横切る。谷側が崩落のため尾根に戻り完全に藪に入った。目を凝らすと径らしい平地が見えたので安心して下った。やがて、その先にガードレールのある舗道も見えてきた。大水で流された、一部崩落した登山道に出てから舗道に上がった。これは高山不動への車道の様である。

その後、だらだらと舗道を辿って歩いたところ、1時間以上要し、吾野駅の東に出てしまった。よく地図で確認すべきであった。（了）